



### 先祖をしのび 船を見送る

お盆の伝統行事「精霊船送り」が営まれ、竹や麦わらで作製した船2隻を沖へ流す(甲ヶ崎・8月15日)

### 「御食国若狭おぼまの火」が誕生

国体・障スポの選手の活躍を見守る炬火「お水送りの火」「鯖街道起点の火」を一つに(酒井・7月31日)



### 熱砂の上で熱き戦い

ジャパンビーチバレーボールツアー2018で本市在住の村上選手のペアが優勝(鯉川・8月4日・撮影 池田章)



### よみがえった郷土芸能

今年5月に市の無形民俗文化財として32年ぶりに再指定された「和多田六斎念仏」を奉納(和多田・8月15日)



### 小さな学芸員が館内を案内

イベントに参加した市内の小学生7人が来館者に展示物や小浜の食文化を案内(食文化館・7月22日)



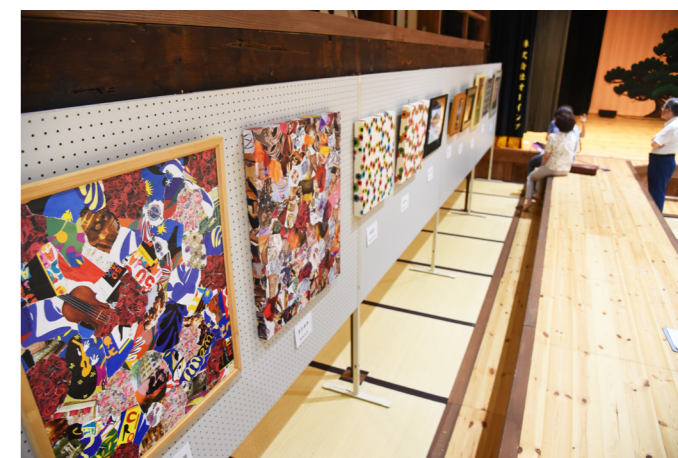
### 海の子たちと山の子たちのふれあい

本市と勝山市の小学生がタコかご漁やシーカヤック体験などを通じ交流を深める(矢代・7月21日)



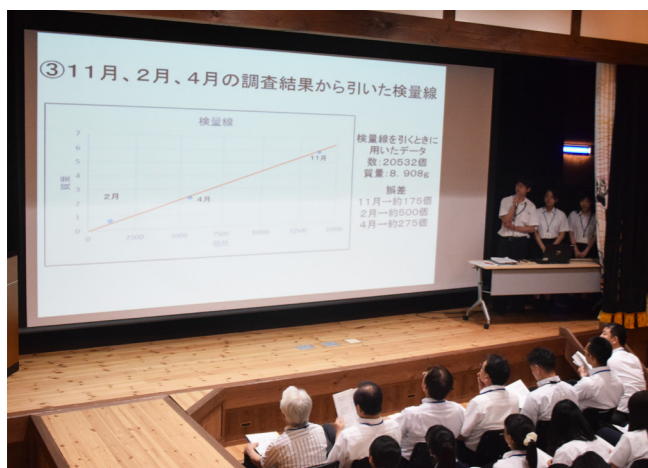
### 先進技術でミニトマト 県内初

合同会社なかなた農園が大規模連棟ハウスでミニトマトを水耕栽培。周年出荷を目指す(深谷・7月25日)



### 古風な建物でアートを堪能

若狭美術協会とアート久須夜が「初めての旭座美術展」を企画。会員らが30作品を出展(旭座・8月8日)



### 「環境」テーマに研究発表

県内外のSSH指定校など6高校がスライドやポスターで研究成果を発表(旭座・7月21日)

### 健康長寿もたらず「食」競う

「小浜藩医杉田玄白料理&新商品コンテスト」に3部門14組が料理などを出品(食文化館・7月29日)



### 暑さ忘れて踊り楽しむ

若狭マリニピア2018「夜の市」の小浜音頭パレードに約250人が参加(はまかぜ通り商店街・7月31日)



### 「雲城水」の恵みに感謝

湧き水の恵みに感謝する「水まつり」が行われ、神事や青年会による振る舞いが実施(一番町・7月23日)

